

地域整備方針

(川崎市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
川崎駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>京浜臨海部への交通要衝として広域的な商業・業務機能等の拠点として発展してきた川崎駅周辺地域において、次世代を見据えた高次な都市機能拠点として再生するため、駅周辺での大規模低未利用地の土地利用転換や防災性の向上に資する老朽建物の更新により、広域的な交通結節点としての立地特性を活かし、商業・業務・研究開発・文化・住宅等の都市機能がコンパクトに集積した魅力とにぎわいのある都市拠点を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○商業・業務・研究開発機能の高度化を図るとともに文化・アミューズメント機能等の集積とあわせ都市型居住機能を導入</li> <li>○川崎駅周辺の回遊性向上に資する交通結節機能の改善・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存の商業集積等を活かしつつ、駅周辺の東西に渡った集客施設相互の回遊性向上を図るため、川崎駅北口自由通路の整備による歩行者ネットワークの形成</li> <li>○西口地区における地区内の回遊性の向上と歩行者空間の整備</li> <li>○東口駅前広場から京急川崎駅周辺地区における、防災性の向上と回遊性の強化に資する老朽建物の更新・改善及びこれと併せた歩行者空間の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○魅力ある都市拠点の形成に向けたテーマ性のある都市景観の形成</li> <li>○高齢化社会や国際化社会に対応したユニバーサルデザインの導入</li> <li>○低炭素社会を目指した環境技術の導入</li> </ul>

# 川崎駅周辺地域のプロフィール

(平成21年4月1日現在)


## 1. 地域の概要

- ・川崎市は東京と横浜に挟まれており、京浜臨海部の工業都市として発展してきた都市（人口約131万人）
- ・当該都市再生緊急整備地域は、JR川崎駅、京急川崎駅を中心とした半径約500mの範囲で、広域的な交通結節点を形成
- ・当該地域のうち、川崎駅西口大宮町地区は、老朽化した住宅団地の建替えや企業施設の廃止により、商業・業務・文化・都市型居住等の集積が進展。
- ・また、川崎駅西口の堀川町地区は、東芝堀川町工場跡地（約11.9ha）の大規模土地利用転換により、商業・都市型居住等の新たな拠点を今後形成。

## 2. 主要プロジェクト

プロジェクト名 (地図上の位置①)	川崎駅北口地区第3西街区第一種市街地再開発事業（「DICE（ダイス）」）	
所在地 / 面積	川崎市川崎区駅前本町8番3他	約4,400m <sup>2</sup>
用途地域	商業地域	完成図 
主用途	店舗、娯楽施設	
延床面積	約38,600m <sup>2</sup>	
事業者	川崎駅北口地区第3西街区市街地再開発組合	
着工～竣工	平成13年6月22日～平成15年8月28日	
関連予算 (国・自治体)	国庫：約10億円 県費：約5億円 市費：約5億円	
特例措置適用等		
建築投資額	約105億円	
進捗状況	平成9年10月 都市計画決定告示 平成13年2月 組合設立認可公告 平成11年2月 権利変換計画認可 平成11年12月 権利変換期日 平成13年6月 工事着工 平成15年8月 建築工事完了公告	

プロジェクト名 (地図上の位置②)	川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業		
所在地 / 面積	川崎市幸区大宮町1310	約10,700m <sup>2</sup>	
用途地域	商業地域	完成図 	
主用途	事務所、店舗、ホール（「ミュージア川崎シンフォニーホール」）		
延床面積	約114,000m <sup>2</sup>		
事業者	都市再生機構		
着工～竣工	平成13年4月27日～平成15年12月18日		
関連予算 (国・自治体)	国費：約39億 県費：約20億 市費：約20億		
特例措置適用等			
建築投資額	約725億円		
進捗状況	平成11年12月 再開発地区計画、再開発事業、高度利用地区の都市計画決定 平成13年 2月 権利変換計画の認可 4月 施設建築物工事着手 平成15年12月 再開発事業完了		
プロジェクト名 (地図上の位置③)	(仮称) 川崎駅西口堀川町地区開発事業		
所在地 / 面積	川崎市幸区堀川町72-1他	88,105m <sup>2</sup>	
用途地域	工業地域	完成図 	
主用途	商業施設、住宅		
延床面積	約249,798m <sup>2</sup>		
事業者	三井不動産(株)、東芝不動産(株)		
着工～竣工	平成17年4月20日～平成18年8月31日 (商業施設) 平成16年12月20日～平成19年3月27日 (住宅施設)		
関連予算 (国・自治体)	国費：約38億 市費：約45億		
特例措置適用等	都市再生事業計画の認定 (H16. 12. 10)		
建築投資額	約500億円		
進捗状況	平成12年 3月 東芝川崎事業所(旧堀川町工場)の閉鎖を発表 平成14年 5月 東芝川崎事業所(旧堀川町工場)の跡地利用計画を発表 平成16年 1月 再開発等促進区を定める地区計画決定 平成16年 3月 川崎駅西口地区住宅市街地総合整備事業 国土交通大臣変更承認 平成16年12月 民間都市再生事業の国土交通大臣認定(金融支援措置)、 住宅建設着工 平成17年 4月 商業施設着工 平成18年 8月 商業施設竣工 平成19年 3月 住宅建設竣工		

プロジェクト名 (地図上の位置⑥)	川崎駅西口大宮町地区E-1街区(ブリリアタワー川崎)	
所在地 / 面積	川崎市幸区大宮町28番ほか	約5,400m <sup>2</sup>
用途地域	商業地域	完成図 
主用途	共同住宅(分譲)	
延床面積	約44,900m <sup>2</sup>	
事業者	東京建物(株)、JR東日本都市開発ほか	
着工～竣工	平成18年4月～平成20年10月	
関連予算 (国・自治体)	————	
特例措置適用等	————	
建築投資額	————	
進捗状況	平成11年12月 再開発地区計画 平成18年4月 工事着手 平成20年10月 竣工	
プロジェクト名 (地図上の位置)		
所在地 / 面積		
用途地域		完成図
主用途		
延床面積		
事業者		
着工～竣工		
関連予算 (国・自治体)		
特例措置適用等		
建築投資額		
進捗状況		

3. 関連予算等（国、自治体）		
平成15年度	・住宅市街地総合整備事業等（国土交通省） 国費2億円、市費3億円、事業費7億円 ・市街地再開発事業（国土交通省） 国費6億円、市費10億円、事業費260億円	
平成16年度	・住宅市街地総合整備事業等（国土交通省） 国費13億円、市費14億円、事業費27億円	
平成17年度	・住宅市街地総合整備事業（国土交通省） 国費22億円、市費24億円、事業費46億円	
平成18年度	・住宅市街地総合整備事業（国土交通省） 国費2億円、市費5億円、事業費7億円	
平成19年度	・住宅市街地総合整備事業（国土交通省） 国費1億円、市費1億円、事業費2億円	
平成20年度	・住宅市街地総合整備事業（国土交通省） 国費0.4億円、市費2.6億円、事業費3億円	
4. 公共施設等		地域整備方針への記載有無 民間都市再生事業との関連
施設名 (地図上の位置④)	川崎都市計画道路3・4・27川崎駅西口線 (川崎駅西口第1駅前広場約4,600m <sup>2</sup> 含む)	○地域整備方針記載「有」 ①：共同住宅建設事業 …近隣アクセスの向上 ②：商業施設事業 …近隣アクセスの向上
着工～竣工	平成17～19年	
備考	住宅市街地総合整備事業	
施設名 (地図上の位置⑤)	(仮称)大宮中幸町線	○地域整備方針記載「有」 ①：共同住宅建設事業 …近隣アクセスの向上 ②：商業施設事業 …近隣アクセスの向上
着工～竣工	平成17年～18年	
備考	住宅市街地総合整備事業	
5. 関連協議会設置・開催状況等		
川崎駅周辺総合整備計画策定協議会設立（平成16年7月） 川崎駅周辺総合整備事業推進会議（平成18年7月～）		
6. 地方公共団体担当セクション/担当者/連絡先		
川崎市まちづくり局市街地開発部 市街地整備推進課	担当者 原嶋	TEL or Mail 50sigai@city.kawasaki.jp
	Homepage <a href="http://www.city.kawasaki.jp/">http://www.city.kawasaki.jp/</a>	
	担当者	TEL or Mail
7. 特記事項		